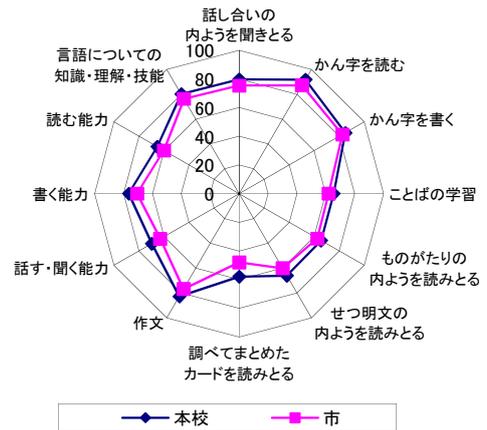


# 宇都宮市立豊郷中央小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	79.8	75.4
	かん字を読む	91.7	87.2
	かん字を書く	84.8	82.5
	ことばの学習	65.4	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	65.5	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	66.1	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	57.8	48.0
	作文	82.8	76.8
観点別	話す・聞く能力	69.8	63.0
	書く能力	76.4	70.6
	読む能力	65.4	60.2
	言語についての知識・理解・技能	80.1	76.3



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	○聞き取ることは一応できていて、市の平均よりも高い結果が出ている。しかし、話し手の考えの共通点を聞き取り、話すことがまだ不十分である。	○各個人に対して質疑応答のような形で、本人に返答(話)をさせるように、学校生活全般において行うようにし、自分の考えを返せるようにさせる。
かん字	○漢字の読みについては、日常の学習や豆テストなどで繰り返し練習している成果が出ているようである。しかし、書くことにおいては、ノートに書く文字がひらがなが多くなり、既習漢字を用いた記録があまりできていないため、「麦茶」「後ろ」のように、送り仮名の誤りや似ている漢字を書いてしまうようである。	○ノートへの記録を既習漢字を用いた文章で記録するように支援していきたい。また、今までのように豆テストなどで繰り返し練習することも、重要である。
ことばの学習	○全体として市の平均よりも高い数値が示されているが、全体的に良い結果ではない。辞書の使い方においては、授業時間において使うくらいで、何回も使いこなすまでには至っていない。また、ローマ字に至っては、4時間の授業で読むことや書くことまでできるようにすることは非常に難しい。	○国語の授業において、新出漢字や難解語句調べを行う時間が無くなっているため、時間を調整しながら国語辞典を使う時間を生み出していく。また、パソコンを使った調べ学習やまとめにローマ字入力を使うようにして習熟を図る。
ものがたりの内ようを読みとる	○場面の移り変わりを読み取ることが、あまりできていない。語句に注意して文章を読まないためであると考え。登場人物の気持ちを読み取ることやあらすじを読み取ることができていない。	○特定語句について注意していくように、授業中指示を与え傍線を引かせ、支援していく。また、文章を読み取るために児童の考えた特定語句について発表させ、全体的に見とれるように支援していく。
せつ明文の内ようを読みとる	○文章の要点に注意して読み取ることが不十分である。しかし、文と文のつながりを考えながら、文章を読み取ることができている。	○文章を読んで、今までは要点となる言葉が文の中に含まれることが多いが、それが関連した言葉で表せるように、語彙を増やせるように支援していく。
調べてまとめたカードを読みとる	○資料を読み取った上で、適切な言葉づかいで話すことがあまりできていない。物事を伝えるための話し言葉が、順序良く話すことができないためであると思われる。	○学校生活において、常に言語活動を行うにあたって順序性のある話し方ができるように、支援していく。また、作文等において文字に表わすことにおいても、正しい言葉づかいに注意していきたい。
作文	○作文を書くことについては、全般的によくできている。しかし、段落を入れて書き表すことにおいては、段落の意味がよくわかっていないところがある。	○文章として書く内容を検討させ、中心となる文章と補足となる文章など、文章の区分けをつかませ、段落の入れ方を理解させていくようにする。